

2024年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年4月12日

上場会社名 プリントネット株式会社 上場取引所 東
コード番号 7805 URL <https://printnet.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 小田原 洋一
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 小田原 一誠 TEL 050-3734-6495
四半期報告書提出予定日 2024年4月12日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2024年8月期第2四半期の業績 (2023年9月1日~2024年2月29日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年8月期第2四半期	4,757	2.5	185	△42.8	190	△41.2	58	△71.1
2023年8月期第2四半期	4,644	7.9	324	54.6	323	39.6	201	16.4

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年8月期第2四半期	12.03	-
2023年8月期第2四半期	41.01	-

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年8月期第2四半期	7,283	3,700	50.7
2023年8月期	7,412	3,632	48.9

(参考) 自己資本 2024年8月期第2四半期 3,694百万円 2023年8月期 3,626百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年8月期	-	0.00	-	12.00	12.00
2024年8月期	-	0.00	-	-	-
2024年8月期 (予想)	-	-	-	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年8月期の業績予想 (2023年9月1日~2024年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,162	△4.8	280	△59.4	285	△58.6	115	△72.4	23.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年8月期2Q	5,460,400株	2023年8月期	5,460,400株
② 期末自己株式数	2024年8月期2Q	628,454株	2023年8月期	631,448株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年8月期2Q	4,829,792株	2023年8月期2Q	4,908,372株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（4）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローに関する説明	3
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において判断したものであります。

(経営成績の状況)

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行により行動制限が解除されたことに伴い、個人消費やインバウンド需要が回復傾向にあるものの、不安定な国際情勢や円安等による原材料価格の高止まりが続き、依然として、景気の先行きが不透明な状況にあります。

当社の当第2四半期累計期間における売上高は4,757,980千円となり前年同四半期累計期間比(以下、「前年同期比」)113,868千円の増収、営業利益は185,584千円で前年同期比139,071千円の減益、経常利益は190,289千円で前年同期比133,321千円の減益、四半期純利益は58,099千円で前年同期比143,209千円の減益となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

① ネット印刷通信販売事業

当第2四半期累計期間において、印刷売上高は4,676,884千円で前年同期比136,029千円の増収、内、大口得意先への印刷売上高は1,793,807千円で前年同期比30,171千円の増収、大口得意先以外の会員の印刷売上高は2,883,077千円で前年同期比105,858千円の増収となりました。また、新規会員数は6,986社(予想における通期累計新規会員数に対する進捗率45.9%)であり、大口得意先以外の新規及び既存を含めた会員1社当たりの平均売上高は13,310円となっております。なお、1社当たりの新規獲得に係る広告宣伝活動における単価は4,652円となっております。

印刷業界におきましては、コロナ禍における生活様式の変化に伴いWEB会議システム等を利用したオンラインでのコミュニケーションが増加したことや、デジタル化の加速による紙媒体の需要減少、原材料やエネルギー価格の高騰が重なり、厳しい経営環境となっております。一方で、ネット印刷通販業界は現在でも成長を続けており、新型コロナウイルス感染症の影響に関しても、印刷業全体に比べ印刷需要の落ち込みは少なかったと考えております。

当社におきましては、前期よりもさらに原材料の高騰が進んだものの、競合他社の価格動向を踏まえ、商品価格を据え置いている事もあり、結果として利益率に影響を及ぼしていると認識しております。

このような状況のもと、当社は強みをさらに伸ばすため、下記3項目に関して全社的な取り組みを進めております。

- ・生産性向上：プロセスの効率化、自動化の推進、従業員のスキル向上を通じて、コスト削減に取り組む。
- ・環境への配慮：環境にやさしい印刷材料とテクノロジーの採用を検討し、環境に配慮した選択肢を提供する。
- ・価格と品質の維持：顧客ニーズに合わせた柔軟な価格戦略を構築し、品質管理プロセスの強化に努める。

また、今期より新たに事業戦略本部を設け、マーケティング及びWEBサイト周辺の機能強化を図るとともに、IR活動も強化し、企業イメージの向上や株価の安定化を目指しております。

なお、当第2四半期会計期間末時点で稼働している大型オフセット印刷機は、前事業年度末と変わらず合計9台となっております。

この結果、売上高は4,685,929千円で前年同期比107,970千円の増収、セグメント利益は258,615千円で前年同期比164,430千円の減益となっております。

② その他の事業

その他の事業の売上高は72,050千円で前年同期比5,897千円の増収、セグメント損失は4,364千円(前年同四半期は22,760千円の損失)です。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産合計は、前事業年度末に比べ80,183千円減少し、2,675,150千円となりました。その主な要因は、現金及び預金が81,089千円減少したこと等によるものです。

当第2四半期会計期間末における固定資産合計は、前事業年度末に比べ48,014千円減少し、4,608,832千円となりました。その主な要因は、無形固定資産が69,455千円減少したこと等によるものです。

この結果、当第2四半期会計期間末における資産合計は前事業年度末に比べ128,198千円減少し、7,283,982千円となりました。

(負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債合計は、前事業年度末に比べ184,701千円減少し、2,275,846千円となりました。その主な要因は、短期借入金が173,580千円減少したこと等によるものです。

当第2四半期会計期間末における固定負債合計は、前事業年度末に比べ11,501千円減少し、1,307,664千円となりました。その主な要因は、長期借入金が5,179千円減少したこと、役員退職慰労引当金が5,745千円減少したこと等によるものです。

この結果、当第2四半期会計期間末における負債合計は前事業年度末に比べ196,202千円減少し、3,583,511千円となりました。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べ68,004千円増加し、3,700,471千円となりました。その主な要因は、利益剰余金が58,099千円増加したこと等によるものです。

この結果、自己資本比率は50.7%となり、前事業年度末に比べ1.8ポイント増加しました。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ81,089千円減少し、958,118千円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、257,459千円（前年同期は370,866千円の収入）となりました。これは主に、税引前四半期純利益104,256千円、減価償却費252,801千円の計上といった増加要因及び法人税等の納付による支出135,627千円等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、169,056千円（前年同期は288,596千円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出140,282千円等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、169,492千円（前年同期は248,368千円の支出）となりました。これは主に、短期借入金による収入495,000千円及び短期借入金の返済による支出668,580千円等によるものです。

(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年8月期の業績予想につきましては、当第2四半期累計期間における業績と今後の動向を踏まえ、2023年10月13日に公表いたしました通期業績予想を変更いたしました。

なお、業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成したものでありますが、実際の業績は今後発生する様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年8月31日)	当第2四半期会計期間 (2024年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,039,208	958,118
受取手形及び売掛金	770,626	742,598
商品及び製品	19,195	11,719
仕掛品	22,513	18,848
原材料及び貯蔵品	649,828	679,617
その他	255,962	266,131
貸倒引当金	△2,000	△1,883
流動資産合計	2,755,333	2,675,150
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	955,205	923,133
機械及び装置(純額)	1,696,225	1,627,081
土地	1,240,504	1,240,504
その他(純額)	176,866	247,411
有形固定資産合計	4,068,802	4,038,131
無形固定資産	273,467	204,012
投資その他の資産		
投資その他の資産	323,235	375,263
貸倒引当金	△8,659	△8,575
投資その他の資産合計	314,576	366,688
固定資産合計	4,656,846	4,608,832
資産合計	7,412,180	7,283,982
負債の部		
流動負債		
買掛金	675,051	658,546
短期借入金	538,580	365,000
1年内返済予定の長期借入金	576,999	644,172
未払法人税等	151,000	80,935
賞与引当金	59,563	59,563
その他	459,353	467,628
流動負債合計	2,460,547	2,275,846
固定負債		
長期借入金	966,463	961,284
ポイント引当金	12,506	10,511
退職給付引当金	113,335	120,621
役員退職慰労引当金	5,745	—
長期末払金	200,304	200,304
その他	20,811	14,943
固定負債合計	1,319,166	1,307,664
負債合計	3,779,713	3,583,511
純資産の部		
株主資本		
資本金	815,722	815,722
資本剰余金	797,639	797,906
利益剰余金	2,362,942	2,421,042
自己株式	△363,035	△361,314
株主資本合計	3,613,269	3,673,356
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	12,781	20,784
評価・換算差額等合計	12,781	20,784
新株予約権	6,416	6,330
純資産合計	3,632,467	3,700,471
負債純資産合計	7,412,180	7,283,982

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)
売上高	4,644,112	4,757,980
売上原価	3,536,283	3,780,557
売上総利益	1,107,828	977,422
販売費及び一般管理費	783,172	791,838
営業利益	324,656	185,584
営業外収益		
受取利息	29	66
受取配当金	933	933
受取賃貸料	4,918	5,170
受取補償金	—	2,183
その他	994	1,712
営業外収益合計	6,875	10,066
営業外費用		
支払利息	5,047	4,307
賃貸費用	686	918
支払手数料	1,467	93
その他	718	41
営業外費用合計	7,920	5,361
経常利益	323,611	190,289
特別利益		
固定資産売却益	—	263
特別利益合計	—	263
特別損失		
減損損失	—	84,682
固定資産除却損	5,017	1,613
特別損失合計	5,017	86,296
税引前四半期純利益	318,593	104,256
法人税、住民税及び事業税	122,654	68,123
法人税等調整額	△5,368	△21,965
法人税等合計	117,285	46,157
四半期純利益	201,308	58,099

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	318,593	104,256
減価償却費	264,857	252,801
減損損失	—	84,682
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△4,907	△201
賞与引当金の増減額 (△は減少)	7,769	—
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	△8,819	△1,994
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	4,679	7,285
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	300	△5,745
受取利息及び受取配当金	△962	△999
支払利息	5,047	4,307
有形固定資産売却損益 (△は益)	—	△263
固定資産除却損	5,017	1,613
売上債権の増減額 (△は増加)	△77,686	23,209
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△84,848	△18,647
仕入債務の増減額 (△は減少)	9,873	△16,505
前受金の増減額 (△は減少)	4,052	3,459
未払金の増減額 (△は減少)	24,262	9,407
未払消費税等の増減額 (△は減少)	1,438	△27,099
その他	90,464	△23,630
小計	559,130	395,936
利息及び配当金の受取額	961	998
利息の支払額	△5,268	△3,848
法人税等の支払額	△183,957	△135,627
営業活動によるキャッシュ・フロー	370,866	257,459
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△72,581	△140,282
有形固定資産の売却による収入	—	3,624
無形固定資産の取得による支出	△6,906	△16,549
事業譲受による支出	△187,000	—
敷金及び保証金の差入による支出	△3,898	—
保険積立金の積立による支出	△14,416	△14,416
短期貸付金の増減額 (△は増加)	52	△558
その他	△3,846	△874
投資活動によるキャッシュ・フロー	△288,596	△169,056
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	700,000	495,000
短期借入金の返済による支出	△500,000	△668,580
長期借入れによる収入	—	357,160
長期借入金の返済による支出	△318,764	△295,166
配当金の支払額	△49,467	△57,902
自己株式の取得による支出	△80,137	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△248,368	△169,492
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△166,099	△81,089
現金及び現金同等物の期首残高	1,002,649	1,039,208
現金及び現金同等物の四半期末残高	836,550	958,118

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

単位(千円)

	報告セグメント		その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期損益計 算書計上額 (注3)
	ネット印刷 通信販売事業	計				
売上高						
印刷売上高	4,540,854	4,540,854	—	4,540,854	—	4,540,854
資材売上高	35,098	35,098	—	35,098	—	35,098
その他売上高	2,005	2,005	66,153	68,158	—	68,158
顧客との契約から生じ る利益	4,577,958	4,577,958	66,153	4,644,112	—	4,644,112
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	4,577,958	4,577,958	66,153	4,644,112	—	4,644,112
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,577,958	4,577,958	66,153	4,644,112	—	4,644,112
セグメント利益又は損失 (△)	423,045	423,045	△22,760	400,284	△75,628	324,656

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食事業及び調剤薬局事業です。

2. セグメント利益又は損失の調整額△75,628千円は報告セグメントに配分していない全社費用です。

3. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期累計期間(自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

単位(千円)

	報告セグメント		その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期損益計 算書計上額 (注3)
	ネット印刷 通信販売事業	計				
売上高						
印刷売上高	4,676,884	4,676,884	—	4,676,884	—	4,676,884
資材売上高	7,039	7,039	—	7,039	—	7,039
その他売上高	2,005	2,005	72,050	74,056	—	74,056
顧客との契約から生じ る利益	4,685,929	4,685,929	72,050	4,757,980	—	4,757,980
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	4,685,929	4,685,929	72,050	4,757,980	—	4,757,980
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,685,929	4,685,929	72,050	4,757,980	—	4,757,980

セグメント利益又は損失 (△)	258,615	258,615	△4,364	254,250	△68,666	185,584
--------------------	---------	---------	--------	---------	---------	---------

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食事業等です。
2. セグメント利益又は損失の調整額△68,666千円は報告セグメントに配分していない全社費用です。
3. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「その他」(飲食事業等)に関連するのれんについて減損しております。当第2四半期累計期間における当該減損損失の計上額は68,691千円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。